

+

2021年

11月第3・4週の主日礼拝説教要約

・ 11月21日：マルコ福音書10：35-45.

「仕える偉人として」

・ 11月28日：ヨハネ福音書10：22-31.

「神の声に従う」 (待降節 第1主日)

説教 《仕える偉人として》

ガリラヤ湖にはゼベダイという年配の漁師がいて、彼の二人の息子もそこで漁師をしていました。その日、岸边に接岸した漁船の中で父と息子たちが、一緒に網の手入れをしていると、そこを通りかかったナザレのイエスが息子たちに語りかけます、「恐れることはない。今から後、あなたたちは人間をとる漁師となる。(ルカ福音書5:10)」と。二人の息子の名はヤコブとヨハネ。イエスは、気性の激しいこの兄弟のことを「ボアネルゲス(=大騒ぎする子たち)」という渾名で呼ぶようになります。

ある日、彼らがイエスと共にサマリア人の住む村を通り過ぎようとした時に、村人から敵視されたことを知ると、兄弟はイエスにけしかけます、「お望みなら、天から火を降らせて彼ら(サマリア人ら)を焼き滅ぼしましょうか。」と。イエスが挑発に乗ることもなければ、反撃に出ることもない、ということを彼らは理解しません。しかし、彼らののりは、良く言えば、古代の士師に相通ずるものがありました。それ以上でも以下でもなく。

またある日のこと、イエスが三度目の自身の死と復活の予告をしたときに、この兄弟は、それを全く理解しないばかりか、むしろ、正反対の未来を夢見てイエスに懇願したのです。「イエスよ、あなたが栄光をお受けになる(王座に就かれる)時に、私達の一人を右に、一人を左に座らせてください」と。イエスの予告に対して判断停止を強いられている他の弟子たちを尻目に、兄弟は本気です。

イエスは直ちに二人を咎めます、「あなたたちは自分が何を願っているのかを、分かっていない・・・」。

もし、その場に使徒パウロがいたならば、全く別の反応を示して、キリスト教会の歴史は変わっていたであらうでしょう。しかし、イエスは彼のようなおりこうさんを弟子に選ぶことは(生前)ありませんでした。神の手順を想像することは興味深いことです。

いずれにせよ、兄弟の頭の中にあった支配のイメージは、神のそれとは大きく異なるものだったのです。「あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、一番上になりたい者は、全ての人の下僕になりなさい。」、実は、これこそがイエス自身が今していることでした。さらに、人類の罪を購うために、これから命を献げるということを理解できる者は、この世の知識人も含めても、誰一人いなかったのです。

説教《神の声に従う》

「もしメシアなら、はっきりそう言いなさい」、エルサレムの神殿で鉢合わせとなったユダヤ人たちがイエスに向かって、そう命令をしている場面です。メシアの定義は、時代によって微妙に異なります。その地位が神聖なる者からただの人間に至まで。いずれにしてもメシアは神ではない、神格化もありえないというのがユダヤ人の共通の認識としてありました。したがって、過去にもそれらしき人間がいたことを彼らは認めているのです。「主を待ち望む」とことと、メシアを発見することは全く別のことでした。メシアなら身分を明かせと詰め寄るのは、相手を100%人間だと思い込んでいる証拠でもあるのです。

メシアの本性がどう評価されようとも、彼の任務はユダヤ民族のために働くことであり、またユダヤ民族のために戦うことでもありました。もしこれらの任務とは異なる行動に終始するならば、ユダヤ人はイエスがメシアであると認定することはできません。

一方、神の独り子がメシアをも兼務(!?)しているという事実は、当時の人間には理解し難いことでした。イエスの弟子の信仰告白も、師の本性の理解には程遠いものでした。

この、説明不可能なイエスの本性は、しかし、その声に反応し聞き従う者たちの出現という、神と人との関係の成立をもって克服できるものであることが教えられます。ただ、それが本物のメシアと人間との正しい関係であることを、理解できる者はいません。

現場に居合わせたユダヤ人たちとイエスとの間に、上記の関係が成立しないのは、相互の関係が元より存在し得ないことを証明するものであることが宣言されると、彼らは本性を剥き出しにし石を手にイエスに襲いかかることになります。

信仰と不信仰が紙一重なのではありません。信仰は神の賜物としてのみ与えられます。これがユダヤの選民思想とは相容れないものであることをイエス・キリストは、事ある毎に、懇切丁寧に説明をします。にもかかわらず、この選民思想は不幸にも一部のキリスト教徒の中に脈々と受け継がれてしまうのです。

私達は、神に選ばれる根拠も、また権利もありません。ただ、絶望する必要はありません。正しい答えは子供讃美歌の中にあるからです。

「生まれる前から神様に、守られてきた友達の誕生日です、おめでとう。

ユダヤ暦の1年

月の順番*	月の名称	太陽暦	祭 日
第7月	ティシュリ	9～10月	1日 新年（ロシュ・ハシャナ） 10日 贖罪日（ヨム・キプール） 15日 仮庵祭（スコット） 23日 律法祭（シムハット・トーラ）
第8月	ヘシバン	10～11月	
第9月	キスレヴ	11～12月	25日 光の祭（ハヌカ）＝ ^{神殿奉献記念祭} （ヨハネ 10:22）
第10月	テベット	12～1月	
第11月	シュバット	1～2月	15日 樹木の新年（ツビ・シュバット）
第12月	アダール	2～3月	14日 仮装祭（プリム） （閏年では第2アダール月に祝われる）
第1月	ニサン	3～4月	15日 過越祭（ペサハ）
第2月	イヤル	4～5月	18日 オメル の33日祭 （ラグバオメル）
第3月	シバン	5～6月	6日 五旬祭（シャプオット）
第4月	タムーズ	6～7月	
第5月	アブ	7～8月	9日 アブ月の第九日祭（ティシャベアブ）
第6月	エルル	8～9月	

* 「出エジプト記」12章1による月のかぞえ方